

【1頁】

奇席 全二卷

梗概▽・神楽坂演藝場に於ける桃太郎の落語・一光の曲藝柳家三亀松の落語・桂小文治の名古屋甚句を撮影せるものなり

【1頁、上段】

T 1. 讀賣短篇

T 2. 製作 讀賣新聞社

録音 DE システム

T 3. 第二十三集

T 4. 奇 席

【1頁、下段】

S 1. 囃子

S 2. 「イラツシャーイ」「イラツシャーイ」「イラツシャーイ」

【2頁、上段】

T 5. (スーパースァート)

昔々亭桃太郎

【2頁、下段】

S 3. 「□□なお笑いを少々の間申上げます。歌といふものは誠に結構なもので、お嬢様やお坊ちやまが歌いま□童謡と云ふ誠に可愛らしいもので御座います」

「夕焼け小焼けで日が焼けて山のお寺の鐘焼ける」火事みたいな歌で「小鳥が夢を見る頃は空にはキラキラ金の星」お坊ちやまがこうやって居りますと小鳥が夢を見る様で、私がこうやりますと、何だか、歯が痛い様な感じが出ます。けれど流行歌と言うものは、はやり、すたりが御座います。様で今はやっております「貴方と呼ばへ」何んといふ朗かな歌で、而したら。あれをお婆さん

【3頁、上段】

T 6 (スーパースァート)

曲藝 一光

T 7 (スーパースァート)

柳家三亀松

【3頁、下段】

が歌ちやー朗かにならない様で「貴方と呼ばへば貴方と答へる。山のこだまの嬉しさよ。貴方なんだい」オヤオヤ入歯が落っこつた。入歯が落っこつてしまいますかこれがほんとの落しばなしで御座います

S 4. 拍手 雑子

S 5. 拍手 雑子

S 6. 春南にすつぽりぬるとうぐいすの□が香に花にたわむれしほらしや小鳥でさえも一筋にねぐら定めず日は沈む

S 7. 拍手 雑子

S 8. 「やー漸くだったね」「アラ漸くでしたワネ」「漸くだったね何時も元気で結構

【4頁、上段】

申請前
四字削除

【4頁、下段】

□□□□チへ来給へコツチハハどうだい」「有難う」「一杯いこうか」「すみません」「どうも有難うもう結構ですワ。どうもすみません。そんなことは□顔するもんぢやないワ。どう有難う」「何故盃洗でいす□んだい。水臭いぢやないか」「だってものの始めですワ」「感じこわした」「許してネみんな私が悪いのどうぞ」「ほんとうか。おゝいエーサウヘーすまないね」「澤田正三郎の国定忠次の山形屋の料白じやネーが酒はかん。魚はきどりさかたぼウーンお酌の仕手がいつと水ばいお酒もこくがあるウフ……ハアい□□待だネ。之が本当ならなほいゝけれど」

【5頁、上段】

申請前
一字削除

【5頁、下段】

ウフ板の間の上の薄□ひいてエへ飲めば飲む程寒くなるヨ」「そんな愚智こぼすもんどや有りませんワヨ」「そうかい久し振りだ。一つひいて貰うか。」「そうネ一寸待つて頂戴い」

S 9. 拍手

「ねえさん誠に恐れ入りますけれど三味線貸して頂戴。有難う。どうもすみませすとても□しいワネエーもゝひきはいてるのアラ用意周□ネ」

S 10. 三味線の音。

「調子□□□□□□」「□□□□上等□□□□やらう」「どいいつな

【6頁、上段】

【6頁、下段】

□だ□□□□川なやつネ」「ソウーネ金語楼のラブ——□□□□」「金語楼のかい□□□□□□」
「お座敷□□□□□□□□□□」

S 11. 口笛

「ネー金語楼さん 私金語楼さんにお願ひが有りますワ。」「僕にかーい」「何故そんなに感情辛い声ですの」「地声だから仕方ないよ」「あのこれでお別れするのが辛いんですけれどなんとか都合しても一度此□へ来て下さらない」「それはお前の気持は良く解つてるけれど家庭の恥をさらす

【7頁、上段】

T 8. (スーパインサート)
柳家三亀松

【7頁、下段】

□ぢやないが僕の家内はヤキモチ焼でヒステリーだよ今晚家でもあけて日には頭の毛が一本も無くなつちまふから今日は助けて□れよ」「だって今迄に金語楼さんに来て下さいなんてお願ひした事無いぢやありませんか。非道い方ね私がこんな事云ふのはよつぽど張

り切ってればこそよ」「ほんとかいそれ」「そう」「ようし頭の毛は一本も無くならうと今晩間違いないと参ります」

S 1 2. 拍手 雑子

S 1 3. 「サー私し流□□□□□□二つばかり踊っても□□□□ませう
名古屋甚吾□□□□□□来た

【8頁、上段】

T 9. (スー。パーインサート)

桂小文□

1 0 T 終

【8頁、下段】

S 1 4. 雑子

「アータヘエー横□□て□□□元のおか□とや出会ってネア□□□□□□まめ□か、達者だか」「まめで、あら□があ百まいか五年□に□□□□□今では大事なレコもある お前さんのお世話にやのー□ボホア アーエならせーまいよ」「アータベエとしてこれ来ないの有難う今程お座敷歸りに」「□ホホ元の旦那に出会ってネ」

S 1 5. 足音

「いやらしいネアー今沼水の□□みたいな顔しなくてもいゝんだけれどちよいと旦那まめたか連者だか」「まめであらがあるまいが三年後に□やりて今では大事なラブもある貴様なんかのお世話あれ、あれなにする貴様なん□のおせちゝ畜生、貴様なんかのウンチヨ□□よいきた

「ンらしよんまいよ」

S 1 1. □子

【データ採録者…三浦雅美】【校正…森田健嗣】